

エレベータージャーナル

# ELEVATOR JOURNAL

No. 2

2014年7月発行

㊤ 一般社団法人日本エレベーター協会

## CONTENTS

● 特集

### 虎ノ門ヒルズ

● クローズアップ

飯田橋グラン・ブルーム  
グリーンライフ仙台  
ザ・リッツ・カールトン京都  
トラスコ フィオリートビル

● 海外物件紹介

World Trade Center Abu Dhabi

● 技術講座

法令改正と昇降機技術基準の  
解説 2014年版の発行

● 2013年度

昇降機設置台数調査結果 報告

特 集



# 虎ノ門ヒルズ

編 集 委 員 会

建 物 外 観

## 1. はじめに

虎ノ門ヒルズは、大都市東京の重要な幹線道路である環状第二号線の新橋から虎ノ門間とその周辺を含めた複合市街地整備の再開発計画の中核をなす都内屈指の超高層建築で、2014年6月11日にオープンしました。本プロジェクトの最大の特徴は、建物地下階を計画道路である環状第二号線が東西に縦断し、その上に多彩な用途を複合させた高さ247mの超高層建物が建つ点にあります。

多様な施設を高度に複合させ、土地を立体利用した虎ノ門ヒルズは、都心部の土地の有効利用の観点からも画期的なプロジェクトです。東日本大震災クラスの大地震が発生しても大きな被害を受けない高い耐震性能と、二重バックアップ構造の非常用発電設備を備えています。虎ノ門ヒルズの完成は、ビジネス地区として発展してきたこのエリアに新風を吹き込み、新たな発展、活性化に繋がってゆくと期待されています。

## 2. 建物概要

所在地：東京都港区虎ノ門一丁目23番1号～4号

事業施行者：東京都

特定建築者：森ビル株式会社

設計：株式会社 日本設計

施工：株式会社 大林組

建物用途：事務所、住宅、ホテル、店舗、カンファレンス、駐車場

敷地面積：17,069㎡

延床面積：244,360㎡

構造：S造（一部SRC造、RC造）

階数床：地下5階、地上52階、塔屋1階

建屋高、軒高：247m

工期：2011年4月～2014年5月

## 特集

### 3. 昇降機設備について

#### ■ オフィス用エレベーター

オフィス用にはダブルデッキエレベーターが計19台設置されています。ダブルデッキエレベーターは、上下2組のかご室を一体のかご枠に取り付けた2階建てのエレベーターで、昇降路の省スペース化と輸送能力の向上とが図れます。また、階高の異なる停止階にも対応できるように、上下のかご間の距離を停止階の階高に合わせて調整するかご間距離調整機能を搭載しています。時間帯により停止階を変えるため、停止可能な階を簡単に判別できるように、かご内行先ボタンの横に停止可能階を示す表示灯を備えています。

かご内の意匠は木を基調とした落ち着いた雰囲気、建物全体の意匠コンセプトに合わせて、かご室壁の分割方向が左右で異なるデザインとなっています。建物の北側(皇居側)の壁を横分割、南側(東京タワー側)の壁を縦分割とすることで、かご内で南北の方向が分かるユニークなアイデアが盛り込まれています。

#### ■ ホテル用エレベーター

ホテルエリアには1階のエントランスと51階のフロントを一気に結ぶシャトルエレベーター3台、フロントから客室(50階から47階)と37階のスパを結ぶローカルエレベーター3台、51階と52階を結ぶホテルトップエレベーター2台とチャペルエレベーター1台の計9台が設置されています。

乗場ランタンにはインゴットガラスを採用し、ガラスの中に散りばめられた気泡は幻想的な輝きを演出しています。乗場扉とかご内は木を基調とし本来の質感を出した仕上がりとなっています。かご内照明は天井に導光板、壁にはブラケット照明とガラス内のアートを照らすLEDライン照明がかご内を演出します。チャペルエレベーターの乗場扉と幕板には全長3mの十字架を取りつけ新郎新婦のこれからの幸せを祈ります。

#### ■ 住宅用エレベーター

37階から46階の住宅フロアに居住者、来訪者がアクセスする乗用エレベーターとして、4台設置されています。

かご内の側面は天然木シートとブロンズミラーガラスで組み合わせられ、背面は天然木シートとイタリア製のタイルで組み合わせられています。背面のタイル部にはLED照明を当てることにより光と影の演出を行なっています。

#### ■ エントランス用エレベーター及びアトリウム用エレベーター

エントランスとアトリウムに設置されているエレベーターはガラスシャフトの展望用で、正背面の2方向出入り口となっています。かご内室はステンレスビーズブラストを基調に展望窓を大きくとり、天井にはガラスクロスを採用してシンプルで落ち着いたデザインとなっています。

#### ■ 商業棟用エレベーター

商業棟には正側面の直角型2方向出入り口のエレベーターが設置されています。かご内の鏡は扉正面のパネルをステンレス鏡面エッチング仕上げとし鏡の機能をもたせたデザインとなっています。

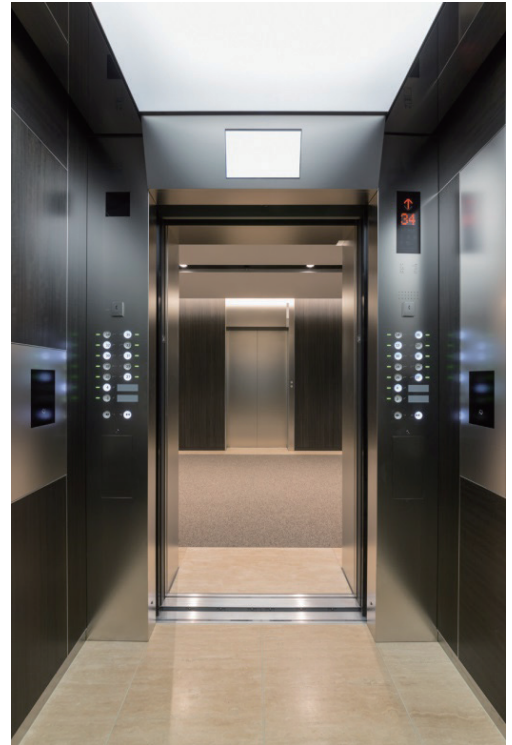
#### ■ エスカレーター

屋外、屋内で計32台のエスカレーターが設置されています。足元の安全対策として巻き込み防止のブラシが設置されており、屋内用にはデザイン性と安全性を両立した照明を足元に設置しています。また、屋内用は待機速度と通常速度の2速度運転をすることで消費電力の削減を図っています。

特集



オフィス用エレベーターホール (3階)



オフィス用エレベーターかご内  
(左: 皇居側、右: 東京タワー側)



ホテルシャトルエレベーターホール



オフィス用エレベーターかご内  
(行先ボタンと停止可能階を示す表示灯)



ホテルローカルエレベーターホール



ホテルシャトルエレベーターかご内

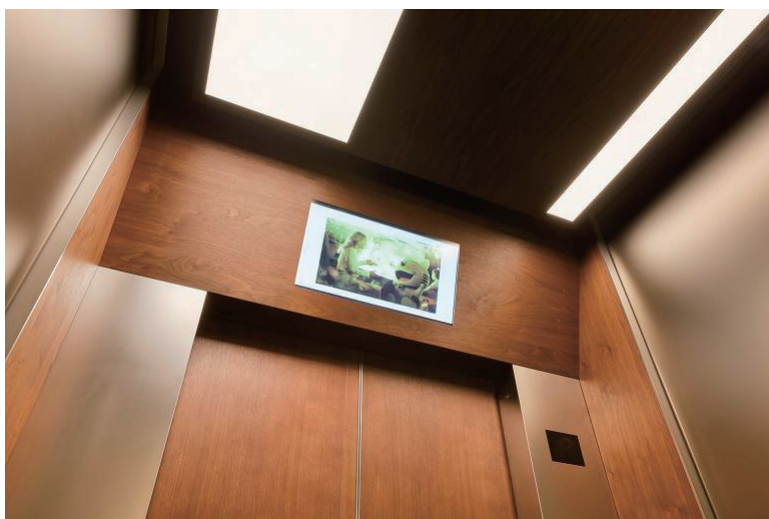
特集



ホテルチャペルエレベーターホール



ホテルトップエレベーターホール



住宅用エレベーターかご内



住宅用エレベーターホール

特集



エントランス用エレベーターかご内



エントランス用エレベーターホール



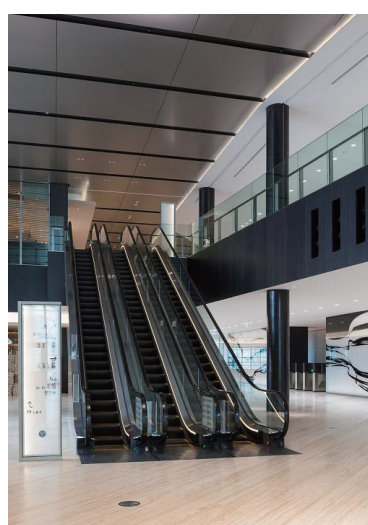
商業棟用エレベーターかご内



商業棟用エレベーターホール



エントランス屋外エスカレーター



エントランス屋内エスカレーター

エレベーター仕様 (計 53 台)

バンク	号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
非常 1	No. 1	人荷用	インバーター	乗合全自動方式	2000	27	240	1	57 (B5-52)	東芝	兼非常用
非常 2	No. 2	〃	〃	〃	2000	27	240	1	57 (B5-52)		兼非常用
オフィス低層	No. 3-7	乗用	〃	全自動群管理方式	1450/1450	22/22	150	5	14 (2-4, 7-17)		5号機のみ車いす仕様
	No. 8	〃	〃	〃	1450/1450	22/22	150	1	16 (B3, B1, 2-4, 7-17)		
オフィス中層	No. 9-13	〃	〃	〃	1600/1600	24/24	300	5	15 (2-4, 16-27)		11号機のみ車いす仕様
	No. 14	〃	〃	〃	1600/1600	24/24	300	1	17 (B3, B1, 2-4, 16-27)		
オフィス高層	No. 15-19, 21	〃	〃	〃	1450/1450	22/22	420	6	13 (2-4, 26-35)	三菱	17号機のみ車いす仕様
	No. 20	〃	〃	〃	1450/1450	22/22	420	1	15 (B3, B1, 2-4, 26-35)		
住宅用	No. 22-25	〃	〃	〃	900	13	360	4	15 (B2-3, 37-46)	フジテック	22号機のみ車いす仕様
ホテルシャトル	No. 26, 27	〃	〃	〃	1250	19	420	2	2 (1, 51)	東芝	26号機のみ車いす仕様
	No. 28	〃	〃	〃	1050	16	420	1	3 (B1, 1, 51)		
ホテルローカル	No. 29-31	〃	〃	〃	1300	20	180	3	6 (37, 47-51)		31号機のみ車いす仕様
ホテルトップ	No. 32, 33	〃	〃	群乗合全自動方式	1250	19	60	2	2 (51-52)		32号機のみ車いす仕様
ホテルチャペル	No. 34	〃	〃	乗合全自動方式	1000	15	60	1	2 (51-52)		
オフィスサービス	No. 35, 36	人荷用	〃	群乗合全自動方式	1800	27	240	2	40 (B5-35)		
ホテルサービス	No. 37, 38	〃	〃	〃	1800	27	240	2	11 (B3, 1, 4, 5, 36, 37, 47-51)		
ホテル・住宅サービス	No. 39, 40	〃	〃	〃	1150	17	150	2	17 (36-52)		
低層	No. 41-43	乗用	〃	全自動群管理方式	1400	21	150	3	9 (B3-6)	フジテック	42号機のみ車いす仕様
低層サービス	No. 44	人荷用	〃	乗合全自動方式	3000	24	90	1	7 (B5-B3, 2-5)	東芝	
エントランス	No. 45	乗用	〃	〃	1450	22	60	1	2 (1-2)	フジテック	車いす仕様
アトリウム	No. 46	〃	〃	〃	1450	22	60	1	3 (1, M2, 2)		車いす仕様
商業棟	No. 47	〃	〃	〃	1000	15	90	1	5 (B3-B2, 1-3)		車いす仕様
駐輪場 (W)	No. 48	〃	〃	〃	1450	22	60	1	3 (B1-2)		車いす仕様
駐輪場 (N)	No. 49, 50	〃	〃	群乗合全自動方式	850	13	60	2	2 (B1, 1)	東芝	
商業サービス (N)	No. 51	人荷用	〃	乗合全自動方式	1300	20	90	1	4 (B3, 1-3)		
商業サービス (W)	No. 52	〃	〃	〃	1350	20	90	1	2 (B2, 1)	フジテック	
大階段	No. 53	乗用	〃	〃	1450	22	45	1	2 (1, M2)	東芝	車いす仕様

エスカレーター仕様 (計 32 台)

バンク	号機	型式	欄干意匠	速度 (m/min)	サービス階	階高 (揚程) (mm)	台数 (台)	メーカー	備考
ESC-A	A1-A3	S600	透明ガラス	30	1 ~ 2	6480	3	フジテック	
ESC-B	B4-B6	〃	〃	30	2 ~ 3	5450	3		自動運転 (低速待機) ポールレス
ESC-C	C7, C8	〃	〃	30	1 ~ M2	4000	2		自動運転 (低速待機) ポールレス
	C9, C10	〃	〃	30	M2 ~ 2	3000	2		自動運転 (低速待機) ポールレス
	C11, C12	〃	〃	30	2 ~ 3	5450	2		自動運転 (低速待機) ポールレス
	C13, C14	〃	〃	30	3 ~ 4	5550	2		自動運転 (低速待機) ポールレス
ESC-D	D15, D16	〃	〃	30	B1 ~ M1	3650	2		自動運転 (低速待機) ポールレス
	D17D, 18	〃	〃	30	M1 ~ 1	3350	2		自動運転 (低速待機) ポールレス
	D19	〃	〃	30	1 ~ M2	3400	1		自動運転 (低速待機) ポールレス
	D20	〃	〃	30	1 ~ M2	3400	1		自動運転 (低速待機) ポールレス
	D21, 22	〃	〃	30	M2 ~ 2	3600	2		自動運転 (低速待機) ポールレス
	D23, D24	〃	〃	30	2 ~ 3	5450	2		自動運転 (低速待機) ポールレス
	D25, D26	〃	〃	30	3 ~ 4	5550	2		自動運転 (低速待機) ポールレス
	D27, D28	〃	〃	30	4 ~ 5	6000	2		
ESC-E	E29, E30	〃	〃	30	1 ~ 2	7460	2	自動運転 ポールあり	
ESC-F	F31, F32	〃	〃	30	1 ~ M2	4100	2	自動運転 ポールあり	



クローズアップ



建物外観

# 飯田橋グラン・ブルーム

仲井 敦

(Atsushi Nakai)

株式会社 日立ビルシステム システム技術本部 システム技術第一部

施 工：前田・鹿島建設共同企業体  
 建物用途：事務所（約71,328㎡）、店舗（約4,923㎡）  
 敷地面積：11,061.91㎡  
 延床面積：124,002.61㎡  
 構 造：鉄骨造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造、  
 鉄筋コンクリート造）  
 階 床 数：地下2階、地上30階  
 建屋高、軒高：150m（最高高さ）  
 工 期：2011年4月～2014年6月  
 竣 工 日：2014年6月15日  
 開 業 日：2014年10月10日

## 1. はじめに

旧東京警察病院跡地の周辺エリアにおいて圧倒的なランドマーク性を持つ大規模オフィスタワー「飯田橋グラン・ブルーム」が誕生しました。飯田橋グラン・ブルームは土地の高度利用を図るとともに、豊かな自然や歴史的環境を活かして都心部の駅前にはふさわしい安全・安心・快適でにぎわいのある複合市街地の形成を図ることを目的に開発されました。この開発によって、周辺地域への人の流れがスムーズにそして賑やかになることが期待されています。

デザインコンセプトは、日本の伝統的な感性とフランスの精神が同居する「粋とエスプリ」となっています。この土地に根差した特性を施設デザインに取り入れ、洗練されたモダンデザインの空間を演出しています。

建物構造においては、制振ブレースにより建物の揺れが軽減される「制振」構造に加え、剛性と耐力に優れた鋼板耐震壁を採用することにより構造強化が図られています。

## 2. 建物概要

所 在 地：東京都千代田区富士見2丁目10番2号  
 建 築 主：飯田橋駅西口地区市街地再開発組合  
 設計・監理：日建設計・前田建設工業飯田橋駅西口地区市街地再開発事業施設建築物実施設計共同企業体

## 3. 昇降機設備

昇降機設備は、エレベーター36台、エスカレーター13台が設置されています。

エレベーターかご内は、天井がダウンライトにアクリルライン照明、全ての壁にはステンレス素材が採用され、木を中心とした自然素材が多用されている建物内観とは対比的なデザインとなっています。

エスカレーターには、建物内装デザインに調和した外装を採用し、ガラス製の落下防止フェンスを設置するとともに、受梁部落下防止対策などの安全性も考慮した設計としています。

オフィスローカルエレベーターについては、大規模停電時にエレベーターの運行台数を半分に減らし、速度を減速させて運転する機能を装備しており、入居企業のBCP（事業継続計画）をバックアップしています。

防災センターに運行状況をモニタリングするパソコンを設置し、オフィスローカルエレベーターの待ち時間が確認できるようにしています。このデータはエレベーターサービスの妥当性を検証することに役立てられています。

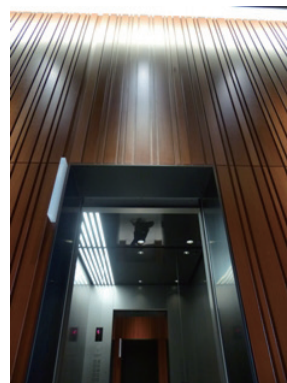
クローズアップ



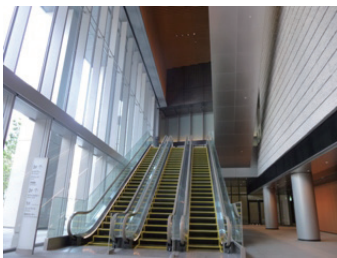
オフィス用ローカルエレベーター  
2階エントランスホール



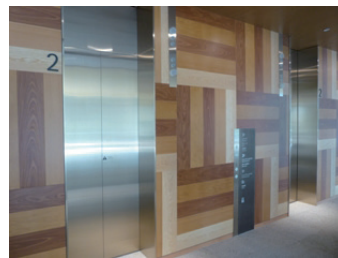
オフィス用ローカルエレベーター  
基準階ホール



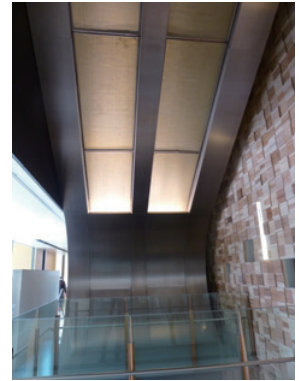
オフィス用ローカルエレベーター  
かご内



オフィス用 エスカレーター



商業用エレベーター 2階ホール



商業用エスカレーター  
底部外装

エレベーター仕様 (計 36 台)

バンク	号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
低層ローカル	L1 ~ L8	乗用	インバーター	全自動群管理方式	1800	27	120	8	12 (2, 4 ~ 13)	東芝	L1 車いす仕様
中層ローカル	M1 ~ M8	〃	〃	〃	1800	27	210	8	11 (2, 13 ~ 22)	日立	M1 車いす仕様
高層ローカル	H1 ~ H8	〃	〃	〃	1800	27	360	8	10 (2, 22 ~ 30)		H1 車いす仕様
業務サービス	S1	人荷用	〃	乗合全自動方式	1600	24	180	1	31 (B1, 1 ~ 30)	東芝	
非常用	E1	人荷兼非常用	〃	〃	2600	40	180	1	33 (B2, B1, 1 ~ 30, PH1)	日立	
非常用	V1, V2	非常用	〃	群乗合全自動方式	1150	17	300	2	32 (B2, B1, 1 ~ 30)	東芝	VIP 用
低層オフィス	P1, P2	乗用	〃	〃	1150	17	90	2	5 (B2, B1, 1 ~ 3)		P2 車いす仕様
商業用	R1, R2	〃	〃	〃	1000	15	90	2	4 (正面 : B2, 背面 : 1 ~ 3)	日立	R2 車いす仕様
商業サービス	S2	人荷用	〃	乗合全自動方式	1150	17	90	1	4 (B1, 1 ~ 3)	フジテック	
商業サービス	S3	〃	〃	〃	1000	15	60	1	2 (B2, B1)		
商業客用	S4	乗用	〃	〃	1000	15	60	1	3 (B1, 1, 2)		車いす仕様
商業客用	S5	〃	〃	〃	1000	15	90	1	3 (背面 : B1, 正面 : 1, 2)		東芝

エスカレーター仕様 (計 13 台)

バンク	号機	形式	欄干意匠	速度 (m/min)	サービス階	階高 (揚程) (mm)	台数 (台)	メーカー	備考
オフィス用	ESC1 ~ 3	S1000	透明ガラス	20, 30 可変	1-2 階	5700	3	日立	無人時微速運転
オフィス用	ESC4, 5	S600	〃	〃	2-3 階	9000	2		自動運転
商業用	ESC6, 7	S1000	〃	〃	1-2 階	5800	2		無人時微速運転, 屋外用
商業用	ESC8, 9	S600	〃	〃	1-2 階	5700	2		無人時微速運転
商業用	ESC10, 11	S1000	〃	〃	2-3 階	9000	2		〃
パサージュ用	ESC12, 13	S600	〃	〃	1-2 階	5258	2		無人時微速運転, 屋外用

クローズアップ



建物外観

# グリーンライフ仙台

服部 政博

(Masahiro Hattori)

東芝エレベーター株式会社 東北支社 建設グループ

## 1. はじめに

大型商業施設や医療施設が続々と誕生し、新しい町としてめざましく進化を遂げつつある長町副都心「あすと長町」。「あすと」とは、「明日（あす）」と「US（アス・英語で“私たち”の意）」をかけ、それに「と（都）・街」をつけたもので、「未来の私たちの街」という意味です。21世紀にふさわしい、未来志向の市街地になるようにとの願いが込められています。

その一角に、医療機関隣接の住宅型有料老人ホーム「グリーンライフ仙台」が完成しました。

免震構造地上13階建てで、1階は調剤薬局、2階は各クリニックと介護・看護事業所、3階から12階までが住宅型有料老人ホームとなっています。

## 2. 建物概要

所在地：宮城県仙台市太白区あすと長町1丁目3-1

建築主：グリーンライフ株式会社

設計監理：株式会社 山下設計 関西支社

施工：鹿島建設株式会社 東北支店

建物用途：有料老人ホーム、クリニック

敷地面積：5,102.77㎡

建築面積：2,581.39㎡

延床面積：20,826.65㎡

構造：RC造

階床数：地上13階

建屋高, 軒高：53.800m

開業日：2014年7月1日

## 3. 昇降機設備

昇降機設備は、エレベーター8台が設置されています。

クリニック利用者向けの1階エントランスホールに展望用エレベーターが1台設置されており、かご室はステンレスバイブレーション仕上げの落ち着いたデザインとなっています。

来訪者用の乗用エレベーター2台、寝台・スタッフ用エレベーター2台は、建物の仕上げと調和した木目調のかご室意匠と人にやさしい車いす仕様付きとなっています。

配膳・人荷用エレベーターとして3台（非常用2台）が設置され、建物運用機能に欠かせない役割となっています。

クローズアップ



展望用（1号機）1階乗場



展望用（1号機）かご室



展望用（1号機）乗場（背面）



乗用（2・3号機）、寝台用（4・5号機）基準階乗場

エレベーター仕様（計8台）

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
1	乗用	インバーター	乗合全自動方式	900	13	45	1	2(1, 2)	東芝	車いす仕様 展望用
2, 3	〃	〃	群乗合全自動方式	1000	15	90	2	12(1-12)		〃
4, 5	寝台用	〃	〃	1000	15	90	2	12(1-12)		〃
6	人荷用	〃	乗合全自動方式	1100	16	60	1	11(正面 3-12, 背面 2)		〃
7	〃	〃	〃	1150	17	90	1	12(1-12)		非常用
8	〃	〃	〃	1150	17	90	1	13(1-13)		〃

クローズアップ



建物外観

# ザ・リッツ・カールトン京都

山口 治 徳

(Harunori Yamaguchi)

フジテック株式会社 近畿統括本部 京滋支店

## 1. はじめに

ザ・リッツ・カールトンが日本国内4番目（大阪・東京・沖縄）に出店したのが京都です。

鴨川河畔の二条大橋のもと、祇園や四条河原町などの繁華街に近接しながら、目前に五山送り火「大文字」で有名な、比叡山に連なる東山を望むロケーションは、四季折々の風情を満喫できる最高の立地にあります。

建物は、伝統的な要素を取入れ古都を意識した造りとなっており、杉を使った組子細工を施した天井意匠などはホテルのイメージと統一され、上質で高級な古都京都の雰囲気漂わすラグジュアリーな空間を有する最高級ホテルです。

## 2. 建物概要

所在地：京都市中京区二条大橋上る鉾田町543

建築主：積水ハウス株式会社

設計者：株式会社 日建設計  
株式会社 イリア

施工者：株式会社 大林組

建物用途：ホテル

敷地面積：5,937.28㎡

建築面積：4,598.23㎡

延床面積：24,682.89㎡

構造：鉄筋コンクリート造  
(一部鉄骨鉄筋コンクリート)

階床数：地下3階、地上4階

工期：2011年12月～2013年10月

開業日：2014年2月7日

## 3. 昇降機設備

昇降機設備は、エレベーター9台、小荷物専用昇降機1台の計10台が設置されています。

特にお客様用として宿泊室をサービスするエレベーター2台とレストラン、宴会場及びスパをサービスするエレベーター2台には、かご内室の意匠に趣向を凝らしており、天井は杉の組子細工、側壁は栓の柾目、床は御影石と天然素材を多用しながら、カラーステンレス鏡面仕上やLED間接照明、液晶位置表示器など現代の技術と天然素材との融合を図り、徹底して質感にこだわった仕上げとなっています。

なかでも、かご天井はロビー階のエレベーターホール天井と同仕様となっており、床に設置したLED間接照明を含め、ホールとの連続性を有した一体感を作り出しています。

また宿泊室用エレベーターのかご内には液晶モニターが設置され、ホテルのイメージ映像を映し出しており、部屋のカードキーを使用するカードリーダーでのセキュリティ運転も装備しています。

クローズアップ



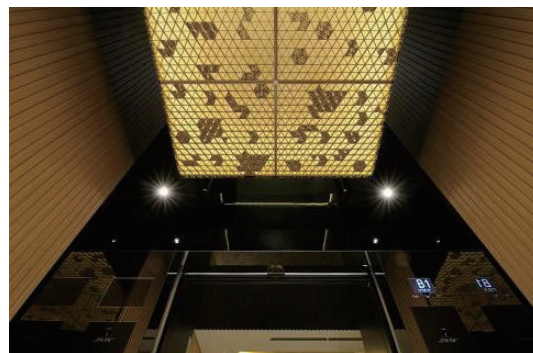
エレベーターホール①



エレベーターホール②



かご内室①



かご内室②

エレベーター仕様 (計 10 台)

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
1 ~ 2	乗用	インバーター	全自動群管理方式	1600	24	105	2	7 (B2, B1, L, 2 ~ 5)	フジテック	車いす仕様
3 ~ 4	〃	〃	〃	1600	24	60	2	3 (B2, B1, L)		車いす仕様
5	人荷共用	〃	乗合全自動方式	1350	17	90	1	7 (正面 B2, B1, L 背面 2 ~ 5)		2方向出入口
6	〃	〃	〃	1600	20	90	1	7 (B2, B1, L, 2 ~ 5)		
7	〃	〃	〃	1850	24	90	1	7 (B2, B1, L, 2 ~ 5)		
8	〃	〃	〃	2000	24	90	1	4 (正面 B2, L1 背面 B1, L)		2方向出入口
9	〃	〃	〃	1600	24	30	1	2 (正面 L 背面 L1)		2方向出入口
	小荷物専用	〃		100	—	30	1	2 (B3, B2)		

クローズアップ



建物外観

# トラスコ フィオリートビル

長竹朝久

(Tomohisa Nagatake)

三菱電機株式会社 ビル事業部 昇降機営業技術部

敷地面積：713.87㎡  
 建築面積：539.54㎡  
 延床面積：5,819.25㎡  
 構造：鉄骨造 一部 鉄骨鉄筋コンクリート造  
           鉄筋コンクリート造  
 階床数：地下1階、地上12階  
 建屋高、軒高：62.02m  
 工期：2012年7月～2014年2月  
 竣工日：2014年3月

## 1. はじめに

JR東日本新橋駅より徒歩5分の好立地に「トラスコフィオリートビル」が2014年3月に竣工しました。オフィス街として活気のある新橋の中でひとときわ輝く建物は、竣工に伴い、トラスコ中山株式会社の101か所ある事業所の本社ビルとなりました。

オフィスビルでありながら、ガラスで覆われた正面の大きな凹凸のある壁と、側面のなだらかな凹凸の壁との対比が美しい、モダンな外観となっています。また、太陽光発電、自然換気、全館LED照明、ドライミストなど、省エネルギー仕様で環境に配慮した最先端の技術を数多く取り入れています。

「フィオリート」とはイタリア語で「花盛りの」、「花咲く」という意味があります。環境に配慮し、美しさを兼ね備えた素敵な花のような建物には、「今後のますますの発展と、幸せの花を咲かせたい」という思いが込められています。

## 2. 建物概要

所在地：東京都港区新橋4丁目28番1号  
 建築主：トラスコ中山株式会社  
 設計・監理：株式会社 日建設計  
 施工：大成建設株式会社  
 建物用途：事務所

## 3. 昇降機設備

昇降機設備は乗用、非常用の計2台が設置され、これらのかご内や乗場は、特徴のあるデザインになっています。その仕上げの美しさはそれぞれの分野の技術力の結晶といえるでしょう。

かごの意匠は、側面壁が木目調で自然の中にいるような安らぎを感じることができます。一方、正面壁、操作盤及び天井は黒を基調とし、その重厚な作りは大都会のオフィスをイメージさせます。その対比が、建物の外観と同様にモダンで引き締まった印象を与えています。

また、留め付けビスが隠れるように成形されたアルミスパンドレルや、表面をエッチング加工で装飾した合わせガラスなど、エレベーターではあまり使用されない材料が採用されています。

さらに、防犯カメラ、カードリーダーを設置し、高いセキュリティ性能も備えています。

乗場の意匠では、特に1階のエントランスホールが特徴的です。ホールランタン、乗場押しボタンが、建築ガラス壁に埋め込まれた構造となっており、点灯時は建築の壁からそれらの光が浮き上がる、建物と一体化したデザインとなっています。

クローズアップ



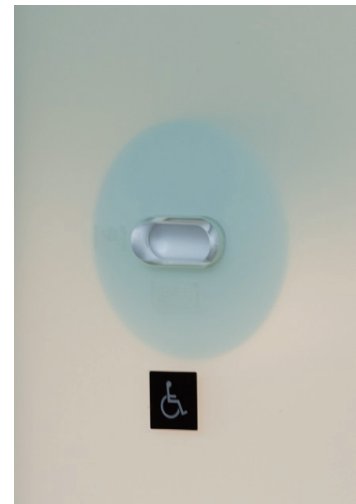
エレベーターかご内  
(正面壁は中央：鏡、両サイド：黒のエッチング合わせガラス、下部：アルミスパンドレルである)



エントランスホールから見たエレベーター乗場  
(ガラス壁からホールランタン、乗場押しボタンの光が浮かび上がるよう演出されている)



エレベーターかご内  
(木目調の壁に黒い操作盤が映える)



乗場押しボタン  
(建築ガラス壁に埋め込まれている)

エレベーター仕様 (計2台)

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
EV-1	乗用	インバーター	2台群乗合全自動方式	1150	17	150	1	10(1, 3-11)	三菱	車いす仕様
EV-2	〃	〃	〃	1150	17	150	1	11(1, 3-11, R)		車いす仕様 非常用兼用



海外物件紹介

# World Trade Center Abu Dhabi



建物外観 左：The Domain Tower（住宅）／右：The Trust Tower（オフィス）

檜 山 隆 介

(Hiyama Ryusuke)

日本オーチス・エレベータ株式会社  
ロジスティクス&エンジニアリング センター 国際部

## 1. はじめに

「World Trade Center Abu Dhabi」は、アブダビの大手デベロッパーである“Aldar Properties”によって計画された、アブダビ市街中心にある伝統的な市場を再開発するプロジェクトです。全敷地面積は607,000㎡であり、プロジェクト全体の完成は2014年8月の予定です。

再開発のコンセプトは、伝統的な市場の景観に、近代的なオフィス、住宅、ホテル、商業施設を完全に溶け込ませ、環境にも配慮した一つの都市空間を創造することです。

ショッピングエリアには伝統的な青空市場のコンセプトを残し、低層の建物によって囲まれた中庭や歩行者専用の路地を有する小さな町として設計されています。市場にある店舗には、高級ブランド店から地元の商店まで様々な店舗が軒を連ねています。また多くの建物には、環境に配慮した屋上庭園が設けられているのも特徴的です。

高層の建物としては、オフィス用途とするThe Trust Towerと、住宅用途とするThe Domain Towerの2

棟が建設されており、アブダビのこの新しい都市空間のランドマークとなる建物です。

## 2. 建物概要

国 : United Arab Emirates (アラブ首長国連邦)

所在地 : Abu Dhabi (アブダビ)

建築主 : Aldar Properties

設計・監理 : Foster + Partners

建物用途 : 事務所 (The Trust Tower)  
住宅 (The Domain Tower)

敷地面積 : 607 000㎡

階床数 : 地下5階、地上59階 (The Trust Tower)

地下5階、地上88階 (The Domain Tower)

構造 : RC, S造

建屋高, 軒高 : 278m (The Trust Tower)

381m (The Domain Tower)

工期 : 2011年1月から2014年8月

竣工日 : 2014年8月

海外物件紹介

3. 昇降機設備

The Trust Towerには、オーチス製では世界で初めての、行き先階予約システムが搭載されたダブルデッキエレベーターが16台採用されており、サービス階は低層・中層・高層に三分割されています。ダブルデッキエレベーターの導入により輸送能力は従来の1.8倍<sup>(\*)</sup>、コア面積は4割以上<sup>(\*\*)</sup>もの省スペース化が実現します。

ダブルデッキエレベーターでは運転方式を時間帯によって変更することが一般的ですが、今回、行き先階予約システムを採用し、ホールにてあらかじめ行き先階を登録することで、エレベーターが停止する階床数を減らすことができます。このシステムの導入により、従来の群管理方式に比べ、待ち時間がより少ない高効率な運行と、ユーザーフレンドリーな使い勝手とを同時に実現しています。

The Domain Towerは88階建て、建物高さは381mとアブダビでは最も高い建物のひとつとなります。The Domain Towerには、住宅という用途を考え、即時予約システムを採用しています。

これら2つの建物には合計で44台の昇降機が設置され

ており、日本からは高速・大容量のエレベーターを合計で27台出荷しています。

- (\*)：同じ台数のシングルデッキエレベーターを設置した場合と比較した輸送能力（当社比）
- (\*\*)：同じ輸送能力をシングルデッキエレベーターで実現しようとした場合に必要となる台数と比較したコア面積（当社比）



エレベーター巻上機 搬入風景

エレベーター仕様 (計 44 台)

棟	バンク	号機	用途	制御方式	運転方式	積載 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
The Domain Tower (住宅)	低層	T2. P01-02	乗用	インバーター	全自動群管理方式	1275	17	210	2	44 (B4, B3, B2, B1, G, 1-39)	オーチス	即時予約システム
	低層	T2. P03-04	〃	〃	〃	1275	17	210	2	45 (B5, B4, B3, B2, B1, G, 1-39)		即時予約システム
	高層	T2. P05, 08	〃	〃	〃	1275	17	420	2	50 (B3, B2, B1, G, 1-2, 40-80, 82, 82M2, 83)		即時予約システム
	高層	T2. P06-07	〃	〃	〃	1275	17	420	2	50 (B3, B2, B1, G, 1-2, 40-80, 82, 82M2, 83)		即時予約システム
	-	T2. P9, 11	〃	〃	群乗合全自動方式	1275	17	105	2	6 (82, 84-88)		
	-	T2. P10, 12, 13	〃	〃	〃	2500	33	105	3	7 (82, 83, 84-88)		
	-	T2. G01	人荷用	〃	乗合全自動方式	2500	33	420	1	89 (B5, B4, B3, B2, B1, G, 1-83)		
	-	T2. G02	〃	〃	〃	2500	33	30	1	3 (B1, BM, G)		
	-	BH. P01-02	乗用	〃	群乗合全自動方式	1600	21	210	2	16 (B4, B3, B2, G, 1-2, 2M, 3-11)		
-	BH. G01-02	〃	〃	〃	2000	27	120	2	18 (B4, B3, B2, B1, BM, G, 1-2, 2M, 3-11)			
The Trust Tower (オフィス)	中層	T3. P01-05	〃	〃	全自動群管理方式	1600/1600	21/21	420	5	18 (G, GM, 21-36)		行先階予約システム
	高層	T3. P06-11	〃	〃	〃	1600/1600	21/21	480	6	18 (G, GM, 37-52)		行先階予約システム
	低層	T3. P12-14	〃	〃	〃	1600/1600	21/21	240	3	20 (G, GM, 1-18)		行先階予約システム
	低層	T3. P15-16	〃	〃	〃	1600/1600	21/21	240	2	20 (G, GM, 1-18)		行先階予約システム
	-	T3. P17-20	〃	〃	〃	1600	21	120	4	9 (51-59)		行先階予約システム
	-	T3. CP01-03	〃	〃	群乗合全自動方式	1600	21	90	3	4 (B5, B4, G, GM)		
	-	T3. G01, T3. G02	人荷用	〃	〃	3000	40	300	2	65 (B5, B4, B3, B2, B1, G, GM, 1-58)		

# 法令改正と昇降機技術基準の解説 2014年版の発行

一般社団法人日本エレベーター協会 本部事務局

## 1. まえがき

昇降機技術基準の解説（以下「解説」という。）2009年版の発行以後、2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震での昇降機の被害事例を受けて、昇降機の耐震強化を目的として、2013年にエレベーター、エスカレーターに関する耐震関係告示が制定され、2014年4月1日から施行された。

“解説”2014年版ではこれらの告示について解説するとともに、これらに関連する昇降機耐震設計・施工指針（以下「指針」という。）2009年版を改訂し“指針”2014年版とした。

その他に2009年以後に改訂された告示等の解説を加えたので、それらの概要及び留意事項について紹介する。

## 2. 関連資料

耐震関連法令及びそれに関する情報は次の表1のとおりである。

表1 耐震関連法令及びそれに関する情報

番号	項目	概要
1	建築基準法施行令	次の第3項の表2に示す改正がなされた。
2	建築基準法施行令の関連告示	次の第3項の表2に示す改正がなされた。
3	建築基準法施行規則	次の第3項の表2に示す改正がなされた。
4	耐震関連告示に関する技術的助言	平成26年3月31日、国住指第4444号
5	業務方法書	エスカレーターの脱落防止に関し、実大実験による評価方法について記載している。
6	“解説”2014年版	平成26年3月28日 初版発行
7	“解説”2014年版 講習会	一般財団法人日本建築設備・昇降機センター主催にて“解説”の講習会が開催された。(5月22日、27日、6月2日)
8	“解説”2014年版 講習会の質問及び解説	講習会の講習内容に対するの質疑応答が一般財団法人日本建築設備・昇降機センターのホームページに掲載される予定である。

## 3. 主な改訂項目

本の構成では、“解説”2009年版と“指針”2009年版とは分冊としていた。耐震に関する法令が改正又は制定されたことに伴い“解説”2014年版と“指針”2014年版との記載内容に密接な関係が出てきたため、“解説”2014年版ではこれらを1冊に合体している。

また、“解説”2014年版に新たに追加した主な項目は、次の表2 “解説”2014年版に追加した主な項目のとおりである。

技術講座

表2 “解説” 2014年版に追加した主な項目

法令項目 (項目の概要)	概 要
建築基準法第86条の7関連 (既存の建築物への制限の緩和について)	既存の建物に増改築を行う場合に既存の建築物に対する建築基準法第20条(構造耐力)の規定の緩和が適用される条件が建築基準法施行令第137条の2及び関連告示平成17年国土交通省告示第566号に規定されている。 本告示には従来昇降機に対する言及はなかったが、平成25年8月5日の告示改正により昇降機の構造についても言及された。 この結果、既存の建築物の増改築を行う場合には既存部分の昇降機についても告示に示されている範囲において昇降機に関する構造強度の基準に適合させることが必要となった。
建築基準法施行令第129条の4関連 (エレベーターの構造上主要な部分について)	第3項第五号として、地震時における釣合おもりの脱落防止の構造方法の規定が追加された。また、第3項第六号として、地震時における主要な支持部分の構造耐力上の計算基準の規定が追加された。
建築基準法施行令第129条の11関連 (適用の除外について)	昇降路、制御器又は安全装置について安全上支障がないものの構造方法を告示で定めることが規定された。
建築基準法施行令第129条の12関連 (エスカレーターの構造について)	第1項第六号として、地震時におけるエスカレーターの脱落防止のおそれがないものとして定められた構造方法を用いるもの又は大臣認定を受けたものとする規定が追加された。
施行規則 第1条の3関連 (確認申請書の様式について)	エレベーターの構造詳細図、エスカレーターの構造詳細図、構造計算結果及びその算出方法、大臣認定書の項目が追加された。
平成12年建設省告示第1413号第三号関連 (機械室なしエレベーターについて)	第三号のホとして、ワイヤロープを用いてブレーキを開放する構造のものにおいて、ワイヤロープの変位により制動装置の機能に支障が生じないようにする措置を講ずる旨の規定が追加された。
平成12年建設省告示第1413号第六号関連 (ホームエレベーターについて)	ホームエレベーターの出入口の戸の構造として、開き戸及び折りたたみ戸を用いる場合の戸の構造が規定された。
平成20年国土交通省告示第1446号関連 (小荷物専用昇降機の昇降路の壁や出し入れ口の戸の基準について)	第一号ニとして、保守点検に必要な開口部の構造の規定が追加された。 この中で、開口部には施錠装置を備えた戸を設置することとしており、出し入れ口の床面から開口部の下端までの高さが1.8m未満の場合は開口部の戸は自動的に閉鎖し、施錠装置は自動的に施錠することを求めている。
平成20年国土交通省告示第1447号関連 (出入口の戸の施錠装置の基準について)	第三号として、鍵を用いずに戸を開こうとした場合においても施錠された状態を保持する力が減少しないことが規定された。
平成20年国土交通省告示第1454号関連 (エレベーターの昇降路の壁や出入口の戸の基準について)	第一号ニとして、保守点検に必要な開口部の構造の規定が追加された。 この中で、開口部には施錠装置を備えた戸を設置することとしており、出入口の床面から開口部の下端までの高さが1.8m未満の場合は開口部の戸は自動的に閉鎖し、施錠装置は自動的に施錠することを求めている。

技術講座

<p>平成25年国土交通省告示第1046号関連 (エスカレーターの地震時の脱落防止に関する構造方法について)</p>	<p>エスカレーターが地震時に脱落するおそれがない事が明らかな場合を除き、脱落するおそれがない構造として、2通りの構造を規定している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) エスカレーターの長手方向について、支持部材のかかり代長さを、大規模地震を想定して建築物に生じる層間変位に対して十分確保する。</li> <li>2) 脱落防止措置を設けることにより、エスカレーターの端部の支持部材が建築物のはり等から外れても落下しない構造方法を設ける。</li> </ol>
<p>平成25年国土交通省告示第1047号関連 (エレベーターの地震に対する構造計算について)</p>	<p>エレベーターの主要な支持部分に対して地震による構造耐力上の安全性を構造計算により確認することが規定された。</p>
<p>平成25年国土交通省告示第1048号関連 (エレベーターの釣合おもりの脱落防止について)</p>	<p>エレベーターの釣合おもり枠に対して次のことが定められた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 釣合おもりの枠が地震力を受けた場合に、部材に生じる応力度が許容応力度を超えないこと。</li> <li>2) 釣合おもりの枠が地震力を受けた場合に、たて枠に生じるたわみによって釣合おもり片が釣合おもりの枠から外れないこと。</li> </ol>
<p>平成25年国土交通省告示第1050号関連 (安全上支障がない昇降路の構造について)</p>	<p>昇降路又はかごの戸が、下げ戸又は上下戸の場合に、乗場の敷居とかごの敷居との間の距離の測定位置の算出方法を変えることが定められた。</p>
<p>平成25年国土交通省告示第1051号関連 (安全上支障がない制御器の構造について)</p>	<p>かご及び昇降路のすべての出入口の戸が閉じた後、かごを昇降させるものであることという建築基準法施行令第129条の8第2項第二号の規定を受けなくてよい制御器の構造について定められた。</p>
<p>平成25年国土交通省告示第1052号関連 (安全上支障がない安全装置の構造について)</p>	<p>エレベーターの安全装置に対して次のことが定められた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 建築基準法施行令第129条の10第3項第一号による戸開走行保護装置の規定を受けなくてよい安全装置の構造について定められた。</li> <li>2) 建築基準法施行令第129条の10第3項第二号及び第三号による地震時の管制運転装置及び外部連絡装置の規定を受けなくてよい安全装置の構造について定められた。</li> </ol>

4. 法令改正での留意点

上述したように、今回の法令及び関連告示の改正の主な点は、地震時におけるエスカレーターの脱落防止にかかわる耐震強化、エレベーターの主要な支持部分の耐震強度評価、エレベーターの釣合おもりの脱落防止の3点があげられる。これに伴い今後の昇降機の設置及び改修、建築物の増改築等において次のことに留意する必要がある。

(1) 改正の内容を正しく理解する

法令及び関連告示の改正内容及びその解釈について、2項で記載した関連資料を参照して正しく理解する。特に耐震関連告示の改正について言及した、平成26年3月31日国住指発第4444号「エスカレーターの脱落防止等に係る技術基準の見直し等について（技術的助言）」（以下「技術的助言」という）及びその講習会の質疑応答内容について十分理解する必要がある。

(2) 既存の建築物への遡及

既存の建築物に増築、改築、大規模修繕又は大規模模様替えをするときに、既存の建築物に設置済の昇降機についても、平成25年国土交通省告示第1046号、1047号、1048号等最新の耐震規定を含む現行法令（告示で指定された範囲）への適合が必要となった。

## 技術講座

### (3) エスカレーター

- ① 層間変形角は、建築物の構造に応じて1/24から1/100の値をとることとなる。建築物の構造設計者は建築物の層間変形角をエスカレーターの設計者に提示する。
- ② エスカレーターの設計者は建築物の設計者と連携をとり層間変形角に対するエスカレーターのかかり代長さを十分にとる。
- ③ 十分なかかり代長さが取れない場合は、「脱落防止措置」を設ける。
- ④ エスカレーターのトラスと建築物のはりとの間に十分な隙間がなく、地震時にトラスが圧縮力を受ける場合には、トラスが圧縮をされても落下にいたる損傷を受けないことを、「実大実験」を行って確認した上で、国土交通省大臣認定を取得する必要がある。

### (4) エレベーターの主要な支持部分の耐震強度評価

- ① 耐震強度計算の対象を確認する。特に、機械室のあるエレベーターのガイドレールは対象外である。常時荷重の作用する機械室なしエレベーターのガイドレールは主要な支持部分として計算対象となる。
- ② 主要な支持部分の材料を確認する。建築基準法施行令第3章第八節第3款に規定されていない材料を使用する場合は「技術的助言」に従って「規格が定められた材料」を使用する必要がある。
- ③ 「規格が定められた材料」の基準強度は、適用する規格に定めた引張り強さを「安全装置作動時の安全率」で除して求める。

### (5) エレベーターの釣合おもりの脱落防止

- ① おもり枠は地震時における応力度の評価を行う。
- ② おもり枠は、地震時におもり片が脱落しない措置を講じるか、おもり枠のたわみ量計算に基づくかかり代を設ける必要がある。
- ③ おもり枠の材料を確認する。令第3章第八節第3款に規定されていない材料を使用する場合は「技術的助言」に従って「規格が定められた材料」を使用する必要がある。
- ④ 「規格が定められた材料」の基準強度は、規格に定めた引張り強さを2で除して求める。

## 5. まとめ

“解説”の第1部には、上述した主要な告示の解説に加え、法令に基づく平常時及び地震時の強度計算例、第2部には認定制度、確認検査、定期検査報告、第3部に昇降機に関する建築基準法令集、第4部に2014年版としての“指針”を掲載している。昇降機に関する建築基準法関連の規定が網羅的に記述されているので活用いただきたい。

2013 年度 昇降機設置台数調査結果 報告

# 2013 年度 昇降機設置台数調査結果 報告

一般社団法人日本エレベーター協会

2014年4月から5月にかけて当協会正会員に協力を得て調査をいたしました、2013年度の昇降機設置台数及び保守台数を纏めましたので、報告いたします。

## 1. 調査概要

- (1) 報告会員数:99社 (100%)
- (2) 調査対象期間
  - 1) 2013年4月1日から2014年3月31日までに当協会会員が工事完了検査を受けた設置台数
  - 2) 2014年3月31日時点で当協会会員が保守している台数
- (3) 対象機種:エレベーター、エスカレーター、小荷物専用昇降機、段差解消機

## 2. 調査結果

- 表1. 新規設置台数調査結果 (都道府県別)
- 表2. 保守台数調査結果 (都道府県別)
- 表3. リニューアル (完全撤去新設+準撤去新設) 設置台数調査表 (都道府県別)
  - 【補足説明】 1) 表1の新規設置台数には表3のリニューアル設置台数を含んでいます。
  - 2) 回答を頂いた33社分の集計です。
- 表4. 建物用途別の新規設置台数調査結果
  - 【補足説明】 1) 本表と表1の総計の値とは会員各社内での区分の違いがあり、差異が生じています。
- 表5. 最近4年度間の新規設置台数調査結果比較
- 表6. 最近4年度間の保守台数調査結果比較
- 表7. 最近4年度間の保守台数の内、地震時管制運転付等、車いす兼用エレベーター等調査結果
- 表8. 都道府県別新規設置台数順位 (上位10都道府県)
- 表9. 1970 (昭和45) 年度以降の設置台数、保守台数の変遷

## 3. 機種区分についての説明

機種別区分		説明	
乗用	特注	高速	速度が 120m/min 以上のもの
		中低速	速度が 105m/min 以下で、かつ標準ではないもの
	標準		基本仕様が「国土交通省機械設備共通仕様書」記載の普及品 (製造会社の標準品) 相当のもの
			P 型: 用途区分「一般乗用」 6 人乗りから 15 人乗りまで R 型: 用途区分「住宅用」 6 人乗りから 13 人乗りまで
寝台用		病院、養護施設等において、寝台やストレッチャー (移動式寝台) に乗せた患者を輸送することを主目的とするもの	
荷物用		専ら荷物を輸送することを目的とするもの	
自動車用		専ら駐車場に設置され、自動車を輸送することを目的とするもの	
小型エレベーター		定員が 5 名以下で、かつホームエレベーターを除いたもの。 定員により 2、3 名と 4、5 名に区分	
ホームエレベーター		個人住宅内に設けられ、かつ利用者が家族に限定されるもの。	
エスカレーター	S600 型	踏段幅が 600mm 相当であるもの (旧呼称 800 型)	
	S1000 型	踏段幅が 1000 mm 相当であるもの (旧呼称 1200 型)	
	動く歩道	踏段に段差がなく、傾斜角度 15 度以内であるもの	
小荷物専用昇降機	テーブルタイプ	腰高 (約 500 mm) に、出し入れ口があるもの	
	フロアタイプ	床面又は床面に近い位置に、出し入れ口があるもの	
段差解消機	斜行型	車いすに乗ったまま使用し、上階と下階とを斜めに走行するもの	
	鉛直型	車いすに乗ったまま使用し、一つの階床内の異なる部分等を鉛直に走行するもの	

無断転載等禁止 : 本調査結果の無断転載等のご遠慮願います。

2013 年度 昇降機設置台数調査結果 報告

表 1. 新規設置台数調査結果（都道府県別）

注1 2013年4月1日から2014年3月31日までに当協会会員が工事完了検査を受けた台数です。人荷共用は乗用に含んでいます。

注2 小荷物専用昇降機、段差解消機については工事完了検査を要しない地区もありますが、報告を受けた全設置台数の集計結果です

2014（平成26）年3月31日現在

機 種 別  都道府県別	エレベーター																	エスカレーター				小荷物専用昇降機			段差解消機		総 計							
	ロープ式																	油圧式				合 計	S 6 0 0 型	S 1 0 0 0 型	エ ス カ レ ー タ ー 計	動 く 歩 道		合 計	テ ー プ ル タ イ プ	フ ロ ア タ イ プ	合 計	斜 行	鉛 直	合 計
	機械室レス								機械室有																									
	乗 用				寝 物 用	荷 物 用	自 動 車 用	乗 用				寝 物 用	荷 物 用	自 動 車 用	乗 用	寝 物 用	荷 物 用	自 動 車 用																
	特 高 速	注 中 低 速	標 P 型	準 R 型				特 高 速	注 中 低 速	標 P 型	準 R 型																							
北海道		21	123	309	105	18		6	7	3	2		1		1			4	141	2	97	840	9	12	21		21	18	52	70		2	2	933
青森		6	35	16	23	4			3	1									27		13	128	2	28	30		30	15	12	27				185
岩手		12	38	21	22	11			1				1		1			2	28		17	154		14	14	2	16	11	12	23		1	1	194
宮城		10	127	97	49	20		2	17	5		2	5				1	1	28	1	44	409		5	5		5	15	22	37				451
秋田		2	21	5	17	4			1										15	1	11	77	4		4		4	12	10	22		1	1	104
山形		18	25	15	14	5			1	2			1						19	1	27	128	8	8	16		16	8	15	23				167
福島		6	38	25	27	17			1				2					1	30		18	165	4	4	8		8	16	18	34		2	2	209
茨城		13	78	43	40	28			3	1	6		1					6	23	7	31	280		8	8		8	10	32	42	1	1	2	332
栃木		5	55	29	25	10			2	3			1					1	6	2	35	174		3	3		3	13	13	26		3	3	206
群馬		8	57	40	41	23				2	1							9		11		212		7	7		7	12	30	42				261
埼玉		86	248	309	147	122		2	25	8	6	2	3		1		6	5	49	9	271	1,299	18	75	93	2	95	36	74	110	2	1	3	1,507
千葉		116	197	254	133	69	1	17	24	8	4		1		4		2	2	53	17	152	1,054	18	112	130	6	136	28	44	72	1	3	4	1,266
東京		285	974	1,791	176	82	2	294	129	97	41	9	27	3	20	1	2	21	118	103	1,245	5,420	128	320	448	21	469	161	117	278	5	12	17	6,184
神奈川		150	376	668	140	72	1	24	43	15	40	1	6		8		1	6	83	58	387	2,079	72	99	171	2	173	40	52	92	3	8	11	2,355
新潟		25	67	41	46	11		2	2	8	1				1		1	15		76	296	1	22	23		23	25	32	57		7	7	383	
富山		6	42	18	20	10			3	2		1	1					10	1	15	129		8	8		8	18	25	43		2	2	182	
石川		12	53	17	25	7		2		1			3				1	1	5		10	137	2	10	12		12	22	24	46	1		1	196
福井		3	28	13	16	9			1									6		17	93						25	22	47	1	1	2	142	
山梨		3	18	9	13	6			5	4			6		2			8		18	107	1		1		1	9	7	16				124	
長野		8	71	26	58	11			1	1							1	19	2	39	237	2	6	8		8	21	29	50				295	
岐阜		10	57	42	22	18			2	1							3	19	2	44	220	2		2		2	21	36	57	4	1	5	284	
静岡		36	157	127	69	52		5	6				2				21		31	1	127	634	7	19	26		26	24	44	68		2	2	730
愛知		98	297	408	149	100		20	28	19	23	1	11		1	10	5	61	11	264	1,506	17	103	120	2	122	59	88	147	22	12	34	1,809	
三重		25	68	36	27	15			1	2						1	1	13	2	25	216	2	22	24		24	20	34	54	2	1	3	297	
滋賀		20	72	59	15	16			7	5	2		2		1		1	17	1	29	248	3	13	16		16	15	28	43				307	
京都		51	130	185	56	14		1	7	3	8		5		2		2	30	14	97	605	6	15	21		21	45	28	73	1	1	2	701	
大阪		162	415	831	96	68	2	72	38	10	62	1	18	1	9	1	1	65	31	313	2,196	43	226	269		269	76	89	165		4	4	2,634	
兵庫		65	261	337	79	47		4	12	13	13		3		4		2	3	43	14	211	1,111	20	39	59		59	52	49	101	2	3	5	1,276
奈良		15	50	49	23	8			2	2								9		41	204	4	17	21		21	17	19	36				261	
和歌山		28	37	27	16	6			3	2								11		27	157		36	36		36	21	18	39				232	
鳥取		1	19	17	8	4				1								4		4	58		2	2		2	10	10	20				80	
島根		3	16	13	8	1												1	8		4	54		2	2		2	9	14	23				79
岡山		19	57	64	56	10			5	3			1					22		28	265	2	15	17		17	10	11	21				303	
広島		22	111	151	54	22		2	5			1	2	1	1		2	2	28	1	103	508	12	18	30		30	25	32	57		2	2	597
山口		18	54	57	30	3			5	1		3	2				1	18	2	11	205	2	16	18		18	8	17	25	2	1	3	251	
徳島		9	28	12	27	1			6											11	101						9	10	19				120	
香川		12	36	24	35	11			5	4	1							4	2	25	159	2	4	6		6	16	21	37				202	
愛媛		11	31	51	30	6				2			1		1		1	21	1	23	179	7	2	9		9	16	19	35				223	
高知		4	17	15	23	2			1	1								8		16	87						20	17	37	1		1	125	
福岡		33	215	511	141	16		3	10	4	2		3		1		1	64	7	92	1,103	8	25	33		33	34	73	107	3	3	6	1,249	
佐賀		8	20	31	21	4												7	2	12	105		2	2		2	17	18	35	1	1	2	144	
長崎		7	63	67	29	4			2	1			1					22	17	14	228	6	4	10	1	11	14	17	31	2	3	5	275	
熊本		8	59	105	45	6			5		1		1					17		37	284	12	4	16		16	20	17	37	1		1	338	
宮崎		3	29	30	20	7			1	1								11	1	16	119		4	4		4	16	16	32	1	2	3	158	
大分		10	35	44	41	4					4	1		2				6		10	157	6	4	10		10	16	20	36				203	
鹿児島		9	56	107	33	9									2			21	9	47	293	6	13	19		19	18	27	45	1		1	358	
沖縄		26	102	165	30	11		4	3				1		1			19		55	417	2	23	25		25	15	19	34	1	2	3	479	
総計		1,508	5,163	7,311	2,320	1,004	6	460	423	240	214	22	113	5	65	3	94	56	1,273	322	4,235	24,837	438	1,369	1,807	36	1,843	1,138	1,433	2,571	60	80	140	29,391



2013年度 昇降機設置台数調査結果 報告

表2. 保守台数調査結果 (都道府県別)

注1 注1 2014(平成26)年3月31日現在、当協会会員が保守している台数です。

2014(平成26)年3月31日現在

機 種 別  都道府県別	エレベーター														エスカレーター					小荷物専用昇降機		段差解消機		総 計										
	ロープ式														油圧式					合 計	合 計	合 計	合 計											
	機械室レス							機械室有							乗 台 物 車 用	寝 台 物 車 用	荷 物 車 用	自 動 車 用	合 計						合 計	合 計	合 計							
	乗 用				寝 台 物 車 用	荷 物 車 用	自 動 車 用	乗 用				乗 台 物 車 用	寝 台 物 車 用	荷 物 車 用														自 動 車 用	合 計	合 計	合 計	合 計		
	特 高 速	注 中 低 速	標 P 型	準 R 型				特 高 速	注 中 低 速	標 P 型	準 R 型																							
北海道		429	2,761	3,036	844	160	1	530	1,359	4,172	4,057	647	513	22	1,705	264	319	96	911	850	1,963	24,639	828	1,815	2,643	41	2,684	460	1,622	2,082	6	6	12	29,417
青森		64	455	141	184	26		22	239	576	99	166	104		173	28	65	18	142	51	231	2,784	95	301	396	10	406	75	183	258		2	2	3,450
岩手		81	482	231	196	42		29	218	655	201	160	107		2	258	44	69	21	98	50	225	3,169	81	249	330	1	331	102	241	343			3,843
宮城		226	1,426	1,186	361	117		302	733	1,930	1,043	212	282	10	827	72	229	58	135	150	686	9,985	253	794	1,047	7	1,054	265	642	907		2	2	11,948
秋田		56	404	114	179	20		20	131	418	84	95	51		159	43	34	7	83	34	180	2,112	47	176	223	18	241	50	143	193			2,546	
山形		53	403	202	141	32		26	180	536	112	103	95		247	40	51	35	90	75	424	2,845	83	121	204		204	100	286	386			3,435	
福島		141	620	337	301	56		36	378	897	325	227	184	2	410	54	161	52	144	74	386	4,785	116	403	519		519	124	502	626			5,930	
茨城		306	1,067	656	490	130		80	588	976	471	303	316	1	829	96	439	68	115	322	765	8,018	111	594	705	16	721	153	606	759		3	3	9,501
栃木		190	775	479	254	84		31	358	920	411	222	240	7	462	64	320	47	81	156	759	5,860	105	383	488	16	504	163	667	830		2	2	7,196
群馬		157	696	365	386	135		82	330	1,042	373	251	364	2	436	85	428	27	87	104	606	5,956	149	388	537	20	557	219	1,116	1,335	2	2	4	7,852
埼玉		813	3,311	3,515	881	689	3	262	1,477	3,716	3,136	518	1,213	12	3,159	176	1,473	227	312	619	4,446	29,958	620	2,226	2,846	35	2,881	434	1,510	1,944	7	15	22	34,805
千葉		823	2,666	3,389	794	477	1	536	1,787	3,495	2,840	565	977	17	2,674	151	739	133	316	485	2,489	25,354	737	2,598	3,335	206	3,541	396	912	1,308	5	10	15	30,218
東京		3,971	13,638	20,039	1,219	491	14	10,335	13,318	31,773	14,941	893	3,055	180	15,821	350	1,459	1,021	683	5,824	15,207	154,232	4,832	9,381	14,213	228	14,441	2,255	4,204	6,459	17	37	54	175,186
神奈川		1,685	5,272	9,372	1,062	575	4	1,371	3,360	7,432	6,083	638	1,946	49	7,157	231	1,228	342	698	1,951	7,069	57,525	1,477	4,077	5,554	71	5,625	781	1,705	2,486	7	7	14	65,650
新潟		198	935	521	437	85		91	502	1,291	399	236	239	2	574	101	244	51	127	115	1,566	7,714	208	483	691	29	720	212	635	847	2	1	3	9,284
富山		181	511	216	183	56		43	317	609	173	161	174		239	43	217	25	84	63	406	3,701	93	233	326		326	196	319	515	4	18	22	4,564
石川		129	656	281	252	46		78	373	1,027	337	211	155	2	388	61	217	40	106	87	385	4,831	89	397	486		486	125	457	582	25	53	78	5,977
福井		65	467	182	196	21		19	234	637	190	148	145		250	72	148	31	68	99	366	3,338	46	174	220		220	118	383	501	9	4	13	4,072
山梨		61	324	158	123	39		18	154	430	134	110	92		391	39	164	26	39	62	345	2,709	33	195	228		228	126	373	499		1	1	3,437
長野		144	1,055	526	436	66	1	42	391	1,175	258	226	216	4	951	129	216	73	174	137	833	7,053	181	349	530	9	539	192	527	719	20	47	67	8,378
岐阜		191	1,043	437	403	145		57	491	1,285	466	295	339	2	544	121	366	87	166	216	958	7,612	135	549	684	8	692	197	612	809	8	3	11	9,124
静岡		453	2,212	1,578	615	349	4	158	1,075	2,368	750	363	921	12	1,503	145	1,236	129	257	419	2,721	17,268	390	1,032	1,422	20	1,442	528	1,479	2,007		3	3	20,720
愛知		1,096	6,439	5,212	1,188	596	5	999	3,533	8,756	5,900	879	2,363	61	2,779	219	1,539	376	526	1,035	5,068	48,569	1,116	3,135	4,251	68	4,319	921	2,166	3,087	59	46	105	56,080
三重		199	1,205	353	361	134		26	500	1,149	310	255	407	4	397	79	346	83	139	180	743	6,870	159	512	671	1	672	215	676	891	1	2	3	8,436
滋賀		262	995	543	155	103		29	402	697	396	89	338	1	571	31	236	93	118	138	601	5,798	129	653	782	4	786	110	245	355		9	9	6,948
京都		503	2,217	1,747	288	188	1	152	1,335	2,797	1,331	262	453	10	1,446	87	183	138	207	645	1,584	15,574	381	1,282	1,663	15	1,678	339	455	794	2	16	18	18,064
大阪		1,925	7,144	7,881	773	573	10	3,134	6,077	13,744	9,938	840	1,995	71	3,967	154	807	438	570	2,523	7,014	69,578	1,887	5,350	7,237	74	7,311	694	1,466	2,160	16	58	74	79,123
兵庫		996	4,181	3,911	827	365		526	2,679	5,530	4,516	605	1,076	44	3,521	160	608	233	391	1,047	3,765	34,981	814	2,652	3,466	69	3,535	476	971	1,447	5	9	14	39,977
奈良		159	745	488	191	32		4	390	777	552	164	163		598	66	74	24	112	89	741	5,369	98	482	580	43	623	114	283	397		4	4	6,393
和歌山		140	547	222	149	20		24	335	644	345	189	91		295	25	32	15	56	132	542	3,803	88	236	324	11	335	117	228	345	3	2	5	4,488
鳥取		44	332	173	149	11		138	404	86	100	44			153	28	34	7	74	32	125	1,934	36	165	201	4	205	66	119	185				2,324
島根		76	424	177	123	21		11	129	390	76	105	44	2	196	39	18	18	55	18	146	2,068	43	128	171	1	172	84	161	245	2		2	2,487
岡山		225	871	631	437	69		77	461	1,287	444	281	297	6	371	83	134	45	156	95	659	6,629	138	534	672		672	131	214	345	1	3	4	7,650
広島		385	1,761	1,877	465	143	1	313	1,203	3,016	2,019	458	557	26	924	93	318	91	296	399	2,002	16,347	358	1,262	1,620	17	1,637	302	673	975	3	11	14	18,973
山口		121	594	527	249	42	1	29	342	895	490	253	184	2	343	58	121	32	150	263	395	5,081	105	363	468	8	476	173	249	422	6	1	7	5,986
徳島		84	416	189	221	19		23	205	555	195	220	94	4	150	31	36	12	65	67	387	2,973	56	152	208		208	86	173	259				3,440
香川		127	498	359	195	45		68	281	892	419	212	126	1	243	44	39	24	66	98	568	4,305	103	335	438	4	442	83	217	300				5,047
愛媛		99	661	621	290	41		26	331	1,158	444	261	142	4	285	50	51	33	164	132	562	5,355	148	255	403	6	409	117	209	326		4	4	6,094
高岡		29	356	330	166	9		7	186	598	268	230	60		186	27	22	15	93	107	413	3,102	67	112	179		179	114	165	279	1		1	3,561
福岡		644	4,138	4,781	851	212	1	522	1,955	5,326	3,916	687	642	16	2,041	147	429	125	688	745	1,659	29,525	814	2,283	3,097	10	3,107	639	1,089	1,728	15	17	32	34,392
佐賀		73	437	242	186	60		10	142	405	168	121	107		191	36	59	27	77	148	179	2,668	93	172	265	15	280	151	389	540	1	7	8	3,496
長崎		65	845	672	268	20		49	362	1,280																								

2013 年度 昇降機設置台数調査結果 報告

表 3. リニューアル（完全撤去新設+準撤去新設）設置台数調査結果（都道府県別）

注1 2013(平成25)年4月1日から2014(平成26)年3月31日までに当協会会員が工事完了した台数です。人荷共用は乗用に含んでいます。

注2 小荷物専用昇降機については工事完了検査を要しない地区もありますが、報告を受けた全設置台数の集計結果です。

2014（平成26）年3月31日現在

機 種 別  都道府県別	エレベーター																エスカレーター			小荷物専用昇降機		段差解消機		総 計					
	ロープ式												油圧式				合 計	合 計	合 計	合 計	合 計								
	機械室レス						機械室有						乗 用	寝 物	荷 物	自 動 車						乗 用	寝 物		荷 物	自 動 車			
	乗 用		寝 物		自 動 車		乗 用		寝 物		自 動 車																		
	特 注	標 準	高 速	中 低 速	P 型	R 型	台 用	物 用	高 速	中 低 速	P 型	R 型	台 用	物 用	乗 用	寝 物	荷 物	自 動 車											
北海道		2	17	16	2			3	7	7	8			2					66				2	25	27			93	
青森				6				3	1	1									11		22	22		22	1	1		34	
岩手				13	1	1					2								17					2	1	3		20	
宮城				9	4					1	8	1	3				1		27	1	8	9		9	1	1		37	
秋田				1			1												2									2	
山形				5				3			3		1						12									12	
福島				2				1									1		4					1		1		5	
茨城		1	8	1		2		2	4	4				1				23						1	2	3		26	
栃木		3	5	1	2	1					1							13		2	2		2					15	
群馬			3	3	1				2	3		1	2					15							3	3		18	
埼玉		4	17	24	2	3		4	8	6	12	2	4		1			87		4	4		4		7	7		98	
千葉		5	14	22	1	2		1	23	7	16		1		1			94		6	6		6		3	3		103	
東京		16	215	90	8	8		101	75	103	52	11	17	2	1	1	1	1	714	4	73	77		77	7	19	26	817	
神奈川		2	56	66	1	3		3	10	18	56	1	4				1	222	4	15	19		19		2	2		243	
新潟			1	5	1			6	3	9	2			1				29		1	1		1		1	1		31	
富山			1	3					2	3		1	1					11						1	3	4		15	
石川			1	4	1			2	5	5		4						23		4	4		4	1		1		28	
福井				3	2				1					1				7							2	2		9	
山梨				1		2			3	1								7							1	1		8	
長野			8	1		1		2	2	1				1				16							3	3		19	
岐阜			1	5		1			2	1								10							7	7		17	
静岡			20	4	4	5			3	1	2			1				40		2	2		2		4	4		46	
愛知		8	28	27	7	3		14	25	20	19	1	3				1	156		2	2		2	10	11	21		179	
三重			1	15	3	7					2							29							8	8		37	
滋賀				5				4	5	3	2							19		1	1		1	1	1	2		22	
京都			1	13	9	1		2	12	4	10		2					55	2	3	5		5	1	3	4		64	
大阪		3	32	27	1	5		21	26	15	101	1	8	1			1	243	2	7	9		9	6	17	23		275	
兵庫			1	34	16	3		1	14	18	23		2			1		113		9	9		9	6	9	15		137	
奈良				2	5		1				1			1				10		3	3		3					13	
和歌山						1			1	2	1							5						1		1		6	
鳥取				1							1							2										2	
島根				2	1													3						1	1	2		5	
岡山			3	5		9			3	5	2							27		1	1		1					28	
広島				8	2		2			4	3						1	1	21	5		5		5	5	11	16		42
山口				1	8		1	1		2	4		3	2				22						1	4	5		27	
徳島				3					3	1								7							1	1		8	
香川				2		1				4	1							8										8	
愛媛				2						2								4										4	
高知				2	2					1								5										5	
福岡			4	14	12	2	1		5	1	8	8	1	2				59		2	2		2	2	10	12		73	
佐賀				3														3						2	1	3		6	
長崎				1					1	1								3						1	2	3		6	
熊本				1	1				6	1								9						1	1			10	
宮崎									1	1								2		8	8		8		1	1		11	
大分				1						3	2							6							1	1		7	
鹿児島				3	3					1								7						1	5	6		13	
沖縄				6	1				1		1							9										9	
総計		59	611	346	58	39		178	253	286	322	30	56	3	5	1	8	4	17	1	2,277	18	173	191	191	53	172	225	2,693

2013 年度 昇降機設置台数調査結果 報告

表 4. 建物用途別の新規設置台数調査結果

注1 2013年4月1日から2014年3月31日までに当協会会員が工事完了検査を受けた台数です。人荷共用は乗用に含んでいます。

注2 小荷物専用昇降機、段差解消機については工事完了検査を要しない地区もありますが、報告を受けた設置台数の集計結果です。

注3 本表と表1の総計の値とは会員各社内での区分の違いがあり、差異が生じています。

2014(平成26)年3月31日現在

機 種 別 建物用途別	エレベーター																	エスカレーター				小荷物専用昇降機		段差解消機		総 計							
	ロープ式										油圧式							合 計	S 600 型	S 1000 型	エ ス カ レ ー タ ー 計	動 歩 道 計	合 計		合 計		斜 行 型	鉛 直 型	合 計				
	機械室レス					機械室有					乗 用	寝 台	荷 物	自 動 車 用	乗 用	寝 台	荷 物						自 動 車 用	テ ー ブ ル タ イ プ						フ ロ ア タ イ プ	斜 行 型	鉛 直 型	
	乗 用		寝 台	荷 物	自 動 車 用	乗 用		寝 台	荷 物	自 動 車 用																							
	特 注 高 速	標 準 中 低 速				特 注 高 速	標 準 中 低 速																										
住 宅	46	628	5,513	60	1	1	99	100	53	200		1	4		1	252	255	4,219	11,433	2	9	11		11	9	10	19	33	27	60	11,523		
事 務 所	220	1,032	263	7	26		214	112	77	8		8	1	6		1	7	55	26	2,063	36	70	106		106	18	76	94	3	1	4	2,267	
商 業 施 設	576	782	179	6	165		85	68	14	1		8	1	14		3	20	15	1,952	300	953	1,253	13	1,266	165	75	240	5	10	15	3,473		
病 院・福 祉	156	634	851	2,012	12		7	54	11	1	20	8		3	2	1	689	18	4,479	55	26	81		81	78	247	325	5	12	17	4,902		
学 校・宗 教・文 化 施 設	222	1,227	352	215	4		21	25	60	1	1	2		9	1	1	242	5	2,388	23	50	73	1	74	61	202	263	12	22	34	2,759		
駅 舎・空 港	101	158	10		7		29	7	1					17				1	331	12	231	243	18	261		5	5			597			
工 場・倉 庫	140	433	78	4	680	5		50	12			82	3	4		89	26	2	1,608		3	3		3	29	138	167	1	4	5	1,783		
そ の 他	49	266	69	18	9	3	5	5	13			3		7		1	1		449	10	27	37	4	41	17	37	54		2	2	546		
総 計	1,510	5,160	7,315	2,322	904	9	460	421	241	211	21	112	5	64	3	94	57	1,253	322	4,219	24,703	438	1,369	1,807	36	1,843	377	790	1,167	59	78	137	27,850

住 宅：集合住宅、戸建住宅  
 事 務 所：事務所ビル、銀行、郵便局  
 商 業 施 設：ショッピングセンター、デパート、スーパー、ホテル、旅館、娯楽等サービス施設、飲食雑居ビル  
 病 院・福 祉：病院、特老等福祉施設  
 学 校・宗 教・文 化：学校校舎、寺院等宗教施設、美術館等文化施設、スポーツ施設、集会所  
 駅 舎・空 港：鉄道駅舎、空港等交通施設  
 工 場・倉 庫：工場、研究所、倉庫、物流施設  
 そ の 他：歩道橋、駐車場、他

表 5. 最近 4 年度間の新規設置台数調査結果比較

機 種 別 調 査 年 別	エレベーター																	エスカレーター				小荷物専用昇降機		段差解消機		総 計							
	ロープ式										油圧式							合 計	S 600 型	S 1000 型	エ ス カ レ ー タ ー 計	動 歩 道 計	合 計		合 計		斜 行 型	鉛 直 型	合 計				
	機械室レス					機械室有					乗 用	寝 台	荷 物	自 動 車 用	乗 用	寝 台	荷 物						自 動 車 用	テ ー ブ ル タ イ プ						フ ロ ア タ イ プ	斜 行 型	鉛 直 型	
	乗 用		寝 台	荷 物	自 動 車 用	乗 用		寝 台	荷 物	自 動 車 用																							
	特 注 高 速	標 準 中 低 速				特 注 高 速	標 準 中 低 速																										
今 回 2014 年 調 査	1,508	5,163	7,311	2,320	1,004	6	460	423	240	214	22	113	5	65	3	94	56	1,273	322	4,235	24,837	438	1,369	1,807	36	1,843	1,138	1,433	2,571	60	80	140	29,391
2013 年 調 査	1,374	5,117	6,961	2,332	809	3	761	363	137	248	22	103	3	38	2	68	25	1,147	321	3,706	23,540	562	1,205	1,767	26	1,793	975	1,367	2,342	31	80	111	27,786
2012 年 調 査	1,391	4,615	6,357	2,120	735	6	645	389	141	233	9	146	2	45	5	80	9	1,173	441	3,708	22,250	542	1,111	1,653	38	1,691	906	1,317	2,223				26,164
2011 年 調 査	1,740	4,866	5,734	1,467	609	5	734	372	124	215	18	78	3	119	1	54	35	1,206	696	3,966	22,042	554	1,631	2,185	47	2,232	1,059	1,358	2,417				26,691

表 6. 最近 4 年度間の保守台数調査結果比較

機 種 別 調 査 年 別	エレベーター																	エスカレーター				小荷物専用昇降機		段差解消機		総 計							
	ロープ式										油圧式							合 計	S 600 型	S 1000 型	エ ス カ レ ー タ ー 計	動 歩 道 計	合 計		合 計		斜 行 型	鉛 直 型	合 計				
	機械室レス					機械室有					乗 用	寝 台	荷 物	自 動 車 用	乗 用	寝 台	荷 物						自 動 車 用	テ ー ブ ル タ イ プ						フ ロ ア タ イ プ	斜 行 型	鉛 直 型	
	乗 用		寝 台	荷 物	自 動 車 用	乗 用		寝 台	荷 物	自 動 車 用																							
	特 注 高 速	標 準 中 低 速				特 注 高 速	標 準 中 低 速																										
今 回 2014 年 調 査	18,268	80,053	81,871	19,112	6,732	47	20,431	50,537	121,961	71,176	14,451	21,501	588	59,489	4,160	15,215	4,588	9,817	20,731	73,046	693,774	18,115	48,869	66,984	1,129	68,113	13,234	91,084	44,318	258	415	673	806,878
2013 年 調 査	16,230	73,795	77,858	17,376	5,713	41	20,311	50,429	122,800	72,615	14,756	21,618	597	60,972	4,126	15,037	4,698	8,655	20,949	70,406	678,982	17,894	48,512	66,406	1,102	67,508	13,384	92,814	46,198	235	635	870	793,558
2012 年 調 査	15,077	69,466	76,157	15,817	5,073	40	20,312	52,235	124,467	70,976	15,345	22,084	635	62,479	4,332	14,944	4,611	7,854	21,077	69,116	672,097	17,249	48,440	65,689	1,099	66,788	13,581	92,445	46,026				784,911
2011 年 調 査	13,588	64,011	74,141	14,344	5,033	97	19,997	53,629	126,524	72,012	15,538	22,342	900	64,197	4,387	16,147	5,056	7,485	20,406	67,822	667,656	17,353	46,960	64,313	1,074	65,387	13,973	93,930	47,903				780,946

**2013 年度 昇降機設置台数調査結果 報告**

**表 7. 最近 4 年度間の保守台数の内、地震時管制運転付等、車いす兼用エレベーター等調査結果**

2014(平成26)年3月31日現在

区分	地震時管制 運転付エレベーター	遠隔監視付 エレベーター	共同住宅用 エレベーター	斜行 エレベーター	車いす兼用 エレベーター	車いす兼用 エスカレーター
今回 2014年調査	464,159	473,741	235,135	137	128,357	1,226
2013年調査	441,665	457,244	231,455	132	122,218	1,231
2012年調査	428,621	446,253	227,777	136	117,565	1,247
2011年調査	415,926	430,661	224,721	135	111,711	1,052

注. (1) 2014年3月31日現在、当協会会員が保守している保守台数 のうち、上記の6種類について調査したもの。  
 (2) 共同住宅用エレベーターは、建物用途が共同住宅の場合。

**表 8. 都道府県別新規設置台数順位 (上位 10 都道府県)**

2014(平成26)年3月31日現在

		エレベーター				エスカレーター				小荷物専用 昇降機		段差解消機		総計	
		エレベーター		ホーム エレベーター		エスカレーター		動く歩道							
1	東 京	4,175	20.3%	1,245	29.4%	448	24.8%	21	58.3%	278	10.8%	17	12.1%	6,184	21.0%
2	大 阪	1,883	9.1%	313	7.4%	269	14.9%			165	6.4%	4	2.9%	2,634	9.0%
3	神奈川	1,692	8.2%	387	9.1%	171	9.5%	2	5.6%	92	3.6%	11	7.9%	2,355	8.0%
4	愛 知	1,242	6.0%	264	6.2%	120	6.6%	2	5.6%	147	5.7%	34	24.3%	1,809	6.2%
5	埼 玉	1,028	5.0%	271	6.4%	93	5.1%	2	5.6%	110	4.3%	3	2.1%	1,507	5.1%
6	兵 庫	900	4.4%	211	5.0%	59	3.3%			101	3.9%	5	3.6%	1,276	4.3%
7	千 葉	902	4.4%	152	3.6%	130	7.2%	6	16.7%	72	2.8%	4	2.9%	1,266	4.3%
8	福 岡	1,011	4.9%	92	2.2%	33	1.8%			107	4.2%	6	4.3%	1,249	4.2%
9	北海道	743	3.6%	97	2.3%	21	1.2%			70	2.7%	2	1.4%	933	3.2%
10	静 岡	507	2.5%	127	3.0%	26	1.4%			68	2.6%	2	1.4%	730	2.5%

2013年度 昇降機設置台数調査結果 報告

表9. 1970 (昭和45) 年度以降の設置台数、保守台数の変遷

2014(平成26)年3月31日現在

区分	年度	1970-1993 昭和45- 平成5	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
新設	機械室あり	315,486	16,050	16,810	17,393	17,805	16,308	17,771	8,207	5,177	3,784	3,019	2,709	2,007	2,350	2,351	2,021	1,877	1,544	1,565	1,637	1,477
	機械室なし								12,561	16,864	19,193	20,178	21,072	21,688	22,496	21,591	17,641	14,884	14,421	15,224	16,596	17,312
保守	油	69,956	8,013	8,556	9,513	10,196	8,988	5,840	950	1,594	1,757	2,644	2,337	2,610	2,019	1,639	1,699	1,471	1,902	1,614	1,468	1,595
	小型エレベーター	6,098	2,325	3,641	6,443	6,686	7,267	8,764	9,549	8,662	8,007	7,640	7,798	7,901	6,982	5,728	5,041	4,202	3,966	3,708	3,706	4,235
エレベーター	合計	391,540	26,388	29,007	33,349	34,687	32,563	32,375	34,490	33,775	33,634	34,133	34,618	34,813	34,342	31,563	26,712	22,622	22,042	22,250	23,540	24,837
	機械室あり	296,514	304,772	317,324	329,883	341,065	352,832	361,796	345,934	346,353	342,033	337,840	332,114	329,848	325,888	321,765	318,081	315,296	310,942	306,054	303,126	300,645
保守	機械室なし								16,197	28,688	45,381	60,852	80,738	97,208	116,628	133,900	148,007	160,248	171,214	181,630	191,013	206,083
	油	59,620	66,216	73,544	81,377	89,497	97,752	101,809	98,699	98,949	97,769	95,895	95,393	92,296	95,031	90,217	93,057	91,939	89,787	86,366	84,833	83,452
エスカレーター	小型エレベーター	4,352	5,729	7,230	9,475	15,057	20,676	24,749	30,014	34,515	39,126	43,742	47,714	53,103	56,533	59,230	61,143	66,380	67,822	69,116	70,406	73,046
	合計	360,486	376,717	398,098	420,735	445,619	471,260	488,354	511,483	529,668	544,810	559,725	576,462	594,365	617,321	630,347	645,251	660,481	667,656	672,097	678,982	693,774
新設	①S600型(800型)	12,560	556	625	770	675	880	713	877	587	818	704	932	729	844	729	621	585	554	542	562	438
	②S1000型(1200型)	26,544	1,724	1,723	2,083	2,273	2,109	2,013	3,015	1,258	1,626	1,912	2,179	1,806	2,211	2,127	2,174	1,418	1,631	1,111	1,205	1,369
保守	合計	39,104	2,280	2,348	2,853	2,948	2,989	2,726	3,892	1,845	2,444	2,616	3,111	2,535	3,055	2,856	2,795	2,003	2,185	1,653	1,767	1,807
	合計	37,056	38,631	40,116	42,247	44,702	46,703	48,641	50,925	51,240	52,329	53,569	55,425	56,486	58,958	60,938	62,384	62,917	64,313	65,689	66,406	66,984
動く歩道	新設	154	44	90	38	32	40	59	47	7	52	70	117	111	97	38	24	21	47	38	26	36
	保守	223	279	290	371	409	471	527	555	591	600	719	793	954	1,036	1,083	1,048	1,060	1,074	1,099	1,102	1,129
小荷物専用昇降機	新設	140,947	5,030	5,113	5,490	4,882	4,434	4,489	4,681	4,328	3,993	3,838	3,889	4,069	3,860	3,159	2,571	2,650	2,417	2,223	2,342	2,571
	保守	56,692	57,876	61,392	60,692	60,913	62,137	61,100	61,602	60,818	58,492	57,076	54,866	52,294	51,114	40,612	48,964	49,762	47,903	46,026	46,198	44,318
段差解消機	新設																				111	140
	保守																					870
国内総合計	新設	571,745	33,742	36,558	41,730	42,549	40,026	39,649	43,110	39,955	40,123	40,657	41,735	41,528	41,354	37,616	32,102	27,296	26,691	26,164	27,786	29,391
	保守	454,457	473,503	499,896	524,045	551,643	580,571	598,622	624,565	642,317	656,231	671,089	687,546	704,099	728,429	732,980	757,647	774,220	780,946	784,911	793,558	806,878

注1：2000年度から従来「直・交流」としていた項目を「機械室あり」、「機械室なし」として、調査様式を変更しましたので、これにあわせて変更しました。1999年度は正式に調査していませんが、新設「機械室なし」台数は、約6,200台(17,771台中)と推測されます。  
 注2：「動く歩道」は、2001年度から追加しました。1994年からの調査結果は、当時の値と異なります。  
 注3：段差解消機は、2012年度から追加しました。それまでの調査結果はありません。

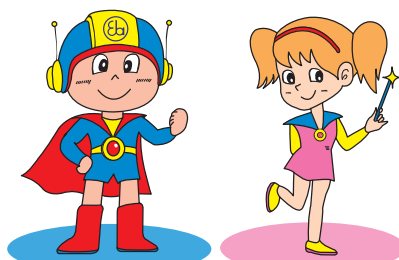


## 11月10日は「エレベーターの日」

1890年（明治23年）11月10日、東京・浅草に完成した12階建ての展望塔「凌雲閣」に、日本初の電動式エレベーターが設置されました。日本エレベーター協会では、この11月10日を「エレベーターの日」と定め、昇降機の安全・安心な利用のためのキャンペーンを実施しています。



凌雲閣（りょううんかく）



ベータくん

エスカちゃん

### 編集後記

本年の4月号から電子書籍「エレベータージャーナル」として新たなスタートを切りました。web化により、より多くの方々に本誌を閲覧して頂けることと期待しています。

新しいスタートといえば、趣味としているクライミングで行ったことのない岩場へ未知のルートを踏破しに行くことが最近の新しい楽しみ方となっています。慣れたグレンデでグレードアップを図ることも面白いのですが、初めての場所のクライミングは新鮮かつ大きなワクワク感を与えてくれます。皆様も何か新しい物事に挑戦してみてくださいませんか。

さて、編集委員会は新委員長を迎え、委員の一部交代がございました。編集委員一同、気持ちも新たに本誌を盛り上げていくことに努めて参ります。これから成長していく「エレベータージャーナル」にご期待ください。

（近藤 記）

### ELEVATOR JOURNAL 2014年7月発行 No.2

編集委員 ◎委員長 ○副委員長

◎山口 貴史	株式会社 日立ビルシステム
◎志賀 正己	三菱電機ビルテクノサービス株式会社
近藤 雄哉	フジテック株式会社
鈴木 洋平	日本オーチス・エレベータ株式会社
榎 由佳	三菱電機株式会社
堀越 隆晴	東芝エレベータ株式会社
神代 裕克	横浜エレベータ株式会社

発行者 下秋元雄

発行所 一般社団法人日本エレベーター協会

〒107-0062 東京都港区南青山5-10-2（第2九曜ビル）

TEL (03) 3407-6471 (代) FAX (03) 3407-2259

URL : <http://www.n-elekyo.or.jp>

㊦ 一般社団法人日本エレベーター協会